

救助工作車を更新

令和8年2月24日に納車式を行い、中消防署へ新たに救助工作車を配備しました。

今回更新した救助工作車は和歌山県で初めて導入した車両となり、特徴として5.5t級シャーシをベースに後部拡張型ハイルフキャブを採用し、現場到着後すぐに活動できるように出動途上で立ち上がって装備を整えられる空間を確保、デッドスペースを無くし優れた収納量を有しているとともに、4段ブームクレーン及び車両前後部にはパワーウインチを装備し、多様な災害現場に対応できる救助工作車になります。

また、資機材の見直しを行い、ロープレスキュー資機材の充実強化から始まり、他の資機材も最新の物に更新することで、現在の救助方法に沿った活動が出来ると考えています。

那賀消防組合では、更なる消防技術の向上を図るとともに、きめ細かな消防行政サービスに取り組むことで、より一層住民の皆様の信頼を得られるよう努めてまいります。



救助工作車（名称：なが中救工1）



救助工作車納車式